

# 職員の給与、市長・議員の 期末手当引き上げに反対

12月議会において、市職員の給与と条例(※別表一)の一部改正が上程されました。私自身は、所属会派および改革市民会議の議員とともに反対しましたが、賛成多数で可決されました。

**給与と改定の影響額  
約2億5,000万円!!**

## 反対の理由

給与引き上げについて、現時点の実施には疑問に感じざるを得ない。今回の給料表改定と期末勤勉手当の引上げは、国の人事院勧告50人以上規模の民間事業所への調査結果に基づいて実施に準じて行われている。50人以上の民間事業所は、枚方市では僅か3.5%(10,102事業所)のうち353事業所であり、民間との均衡が図れているとは言えない。景気回復や賃金上昇の影響はまだ地方にまで及んでいない。本市での民間事業所の

※表1

市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例
市長等の給与に関する条例
市職員給与条例及び一般職非常勤の報酬勤務時間等に関する条例(給与・期末勤勉手当の引上げ)

給与実態を見極め、引き上げを判断すべき。また、国が平成24年4月から実施した給与減額について、国の平均7.8%減額に対し、本市は平均約4%弱と国を下回る減額率であった。減額は国と並りの実施をせず、一方(引き上げ)人事院勧告だからと、国と同様の改定を行う。こうした姿勢に大きな疑問を感じる。市議や市長等の特別職においても、今後の行政改革を更にすすめるために、トップの身を切る姿勢が必要であり、現段階の引き上げに賛成ができません。給与引き上げは時期として適切ではないと考え、反対した。

## 市内のコンビニへAEDを設置

枚方市は、本年4月から市内にある24時間営業のコンビニへAED(自動体外式除細動器)設置を進める。現在、小・中学校や各生涯学習市民センターなど公共施設131か所に設置しているが、夜間や休館日に使用できないため、24時間営業のコンビニの協力を得て、常時AEDを使用できる環境を整備する。各社と協定を締結し、順次設置していく予定。また消防組合等と連携し実技講習も実施していく方向。

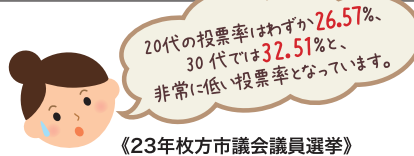


消防団として胸骨圧迫とAED使用の訓練を受けました!

AEDは設置場所が分かりにくいとの声が多々ありましたが、このことで大きく拡がりを見せる可能性があります。一方で使い方がまだまだ認知されていないと思いますし、普及啓発の為に講習をしっかりと行っていかねばなりません。

## 投票に行こう! ~地方から政治を変える~

皆様が納めた税金の使い道を決める大事な手段である“選挙”。本年は、枚方市民が投票できる選挙が4回予定されています。前回の枚方市議会議員選挙は、投票率45.53%(平成23年)。2人に1人も投票をしておらず、約17万人近くの方が棄権しました。政治に無関心でいられても、政治から無関係であることはできません。



「1人では、1票では何も変わらない」といわれます。しかし、1人が動かなければ枚方市は変わりません。「このままではいけない」と感じている方は、沢山おられるはず。

**投票に行きましょう!**

## 発行者紹介



**好きな言葉**  
一燈照隅(各々が持ち場で責任を果たす)自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよ。

**尊敬する人** 両親

**好きな食物** カレーライス

**家族構成** 妻、娘(7才)

## 岩本ゆうすけ 無所属

- 昭和55年3月5日、大手前病院生まれ
- 甲斐田新町出身、東牧野町在住
- きよし幼稚園、山田東小、山田中を経て近大附属高校卒。ユングバウムに学ぶ。
- 立命館大学法学部卒業
- (株)パナソニック
- 大阪ガスセキュリティサービス(株)
- 平成23年5月より現職。現在、総務常任委員、議会改革調査特別委員会 副委員長。
- (一社)枚方青年会議所、NPO法人ふれあいネットひらかた、地域活動や消防団にも参画。

WEBもご覧ください。 ホームページ <http://www.ganpon.net/>

ご意見やご質問・市政相談がございましたら、**岩本ゆうすけ**までご連絡を!

携帯 070-6654-6679  
メール yusuke@ganpon.net

# PRESS YUSUKE IWAMOTO Vol.12

【編集/発行】岩本優祐  
枚方市東牧野町24-29TEL:072-851-1428  
【発行】平成27年3月

TOPICS

教育人事権の委譲で **学力の向上**を図れ!

子供たちの放課後の **安全を確保**せよ!

職員給与の引き上げに **反対!**

市政ニュース コンビニにAED設置



大阪維新の会 推薦



## 無所属 枚方市議会議員 岩本ゆうすけ

議員報告

■会派 未来に責任・みんなの会

未来に責任を持つ政治、即ち次世代にツケを残さない問題を先送りしない政治を目指すことを基本方針とする会派です。

# 次世代にツケを残すな!

## 岩本の考え ①

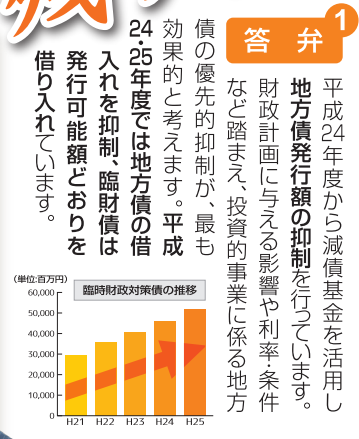
枚方市の広報では黒字財政を謳っていますが、そもそも行政の会計の仕組みでは、借金:市債発行も一般会計の歳入に入る計算をしています。よって借金をするほど、黒字が大きくなる。家計で考えれば、ありえない話です。全国43の中核市のうち10団体が実質的な臨時債の発行抑制を行っており、隣の高槻市でも発行可能額の半分を抑制しています(平成25年度の実績)。国の交付税制度そのものが、安定的なものとは考えられず、本市も発行を抑制していかねばなりません。



地方債残高 968億円  
年間の返済 132億円  
利息 1日380万円!  
(枚方市の財政事情26年版より)

## 臨時財政対策債(臨時債)

「臨時財政対策債」とは、地方一般財源の不足を補うために、特例として始まった【赤字地方債】で、国の臨時措置として導入されました(平成13年度~)。従来、地方交付税の不足分は国が国債を発行してきましたが、この制度により地方自治体が不足分を賸ぐことになりました。その償還費用は国が負担するとされています。



質 問 ①

これまで臨時財政対策債(以下:臨時債)の借入れを抑制すべきと質問。要望してきましたが、状況をお尋ねします。

答 弁 ②

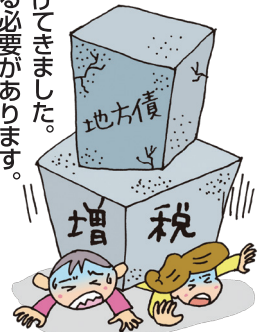
平成23年度末の地方債残高(臨時債を含む)は983億円、25年度末が968億円。比較して約15億円の減少です。平成24年度、地方債の発行抑制はどの程度か、また今後の方向についてお尋ねします。

質 問 ②

平成23年度末の地方債残高(臨時債を含む)は983億円、25年度末が968億円。比較して約15億円の減少です。平成24年度、地方債の発行抑制はどの程度か、また今後の方向についてお尋ねします。

答 弁 ③

平成24年度、25年度の2カ年で、それぞれ5億円の借入れ抑制を行うっており、また平成25年度は約24億円(地方債)繰上償還も実施しています。地方債発行額の抑制は、行政改革実施プランにも取り組み課題に掲げています。今後も、財政状況などを踏まえ発行抑制を実施していきたいと考えています。



※本チラシに掲載している質問・質問は平成26年12月の枚方市議会の要旨です。細部の文言等は編集しております。